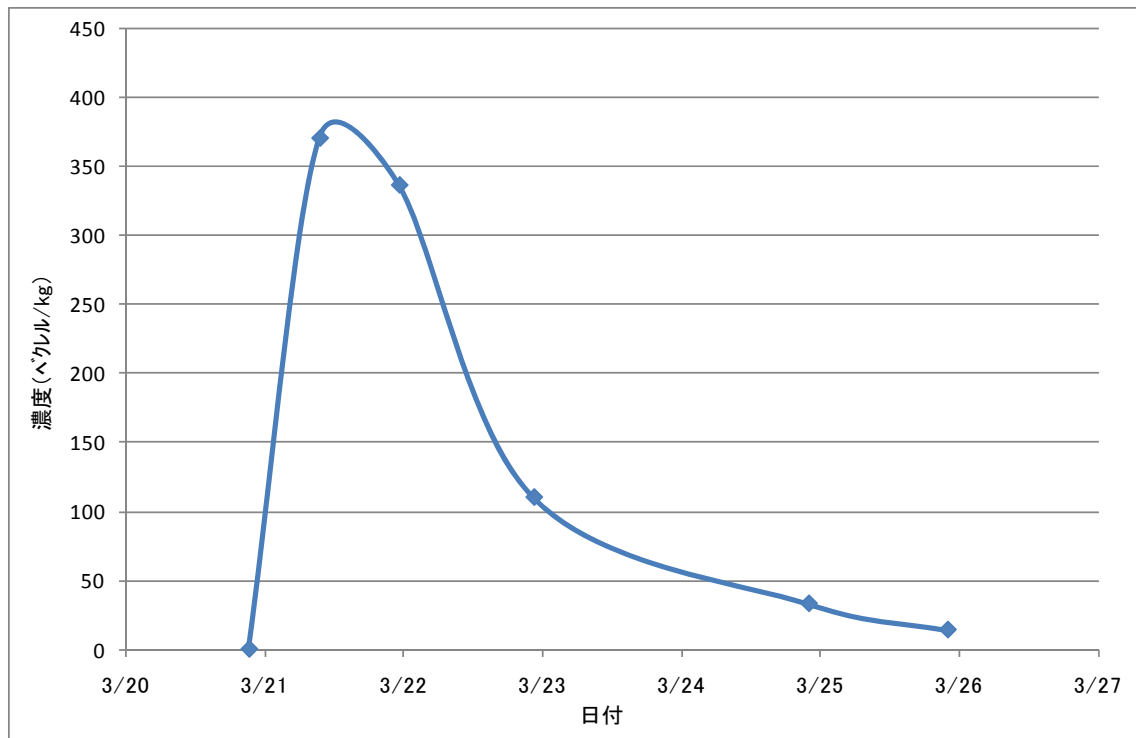


企業団取水口（江戸川）における放射性ヨウ素の推定

（数値はこれまでのヨウ素の測定結果に基づく）



3月21日（月）早朝からの降雨の影響により、放射性ヨウ素は、一時的に急激に増加し、その後は、急激に減少したものと推定され、この濃度上昇は一過性であったと考えられる。

また、近隣都県の放射性ヨウ素（I-131）の定期降下物については3月20日から22日頃の降下物が大幅に増加しており、このことも急激な上昇の要因の一つと考えられる。

放射性ヨウ素（I-131）の定時降下物調査結果

（単位：MBq/km²）

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
3月19日	490	540	190	66	44	40
3月20日	93,000	5,300	3,700	7,200	1,100	2,900
3月21日	85,000	25,000	17,000	22,000	14,000	32,000
3月22日	27,000	23,000	310	22,000	22,000	36,000
3月23日	1,200	1,200	42	16,000	7,700	13,000
3月24日	480	570	27	160	130	173
3月25日	860	670	37	91	320	220
3月26日	76	320	7	57	42	100
3月27日	74	280	6	59	51	46

※参照元：文部科学省「定時降下物の調査結果」